

21世紀はアジアの世紀か？

—環境問題、経済格差、人間の安全保障—

東アジアは、経済成長と繁栄を享受する世界の成長センターとなりました。その一方で、領土紛争、環境問題、人権問題、経済格差など多くの問題が顕在化し、社会的関心を集めています。個人や企業、資本や情報、さらには汚染物質までが越境する東アジアにおいて、国家の枠組みを超えた連携・協調をどのように達成し、地域のガバナンスを実現できるのか。この問題を日本やアジアだけでなく、アメリカからの視点も加えて考えます。

本シンポジウムでは「人を犠牲にしない持続可能なアジアの発展と共存」をキーワードに、「アジア共通の利益」から俯瞰した各国にとってふさわしい使命や貢献を考えます。また東日本大震災や原発事故に起因する福島の問題も、アジア全体の問題として捉える意義は少なくありません。

そこで、第一部は、「21世紀はアジアの世紀か？」をテーマに招聘教授らによる講演、第二部では「東アジアにおけるリージョナル・ガバナンスの可能性と限界」をテーマに、パネルディスカッションやフロアとの質疑応答を通じて、叡智を結集します。

日時：2013年12月17日（火） 10:00～17:10（開場9:30～）
場所：東京国際交流館 プラザ平成（国際交流会議場） ※日英同時通訳対応

10:00～10:20 開会挨拶 日本学生支援機構 理事長代理 徳久 治彦
埼玉大学 学長 上井 喜彦

10:20～10:45 基調講演 「福島から地球環境保全へ」前環境事務次官 南川 秀樹

<第一部> 講演・シンポジウム 「21世紀はアジアの世紀か？」

—環境問題—

10:45～11:15 講演 Peter M. HAAS(マサチューセッツ大学アムハースト校 教授、専門:地球環境問題・国際環境政策)

11:15～11:45 講演 金 一中(東國大学校 教授、専門:環境経済学)

11:45～12:15 質疑応答

12:15～13:15 (昼食)

—所得格差問題と人間の安全保障—

13:15～13:45 講演 Timothy Milton SHAW(マサチューセッツ大学ボストン校 教授、専門:国際政治経済学・人間の安全保障)

13:45～14:15 講演 Barbara Jane L PARPART(マサチューセッツ大学ボストン校 教授、専門:東南アジアの開発・ジェンダー問題)

14:15～14:45 質疑応答

14:45～15:15 (コーヒーブレイク)

<第二部> パネルディスカッション 「東アジアにおけるリージョナル・ガバナンスの可能性と限界」

15:15～16:45

パネラー: Peter M. HAAS、金 一中、Timothy Milton SHAW、Barbara Jane L PARPART、

Jin Seop JANG (マサチューセッツ大学ボストン校ディレクター)、草野 大希(埼玉大学教養学部 准教授)

ファシリテーター: Axel KARPENSTEIN(埼玉大学教養学部 准教授)

16:45～17:00 まとめ 黄 淳壹(東國大学校 教授)

17:00～17:10 閉会挨拶 埼玉大学理事(研究・国際担当)・副学長 山口 宏樹

■申込方法 ※参加費無料

E-mailもしくはFAXにて事前申込みをお願いします。

[E-mail] kokusai@gr.saitama-u.ac.jp

[FAX] 048-858-9675

[申込締切]2013年12月16日(月)正午

※当日参加も可能です。直接会場受付までお越しください。

※午前のみ、午後のみ参加も可能です。

■お問い合わせ

TEL 048-858-3908 埼玉大学国際室 担当:武笠

■会場案内

東京国際交流館プラザ平成(国際研究交流大学村内)

135-8630 東京都江東区青海2-2-1

[交通アクセス]

ゆりかもめ(新橋駅<->豊洲駅)「船の科学館」東口より徒歩約3分

りんかい線(新木場駅<->大崎駅)「東京テレポート」

B出口より徒歩約15分

アクセスマップは、以下のHPで確認ください。

http://www.jasso.go.jp/tiec/documents/accessmap_j.pdf

主催：独立行政法人日本学生支援機構、国立大学法人埼玉大学

後援：文部科学省、外務省、環境省(申請中)、埼玉県、一般社団法人国立大学協会、

特定非営利活動法人JAFSA(国際教育交流協議会)

協力：マサチューセッツ大学ボストン校、東國大学校